令和７年度第４回　静岡市道の駅整備検討委員会　会議録

１　日　　時　　　令和８年３月 25 日（水）　13 時半～15 時

２　場　　所　　　静岡庁舎　本館３階　第一委員会室

３　出 席 者　　　【委　員】内海委員、山内委員、池谷委員、伊賀委員、青木委員
服部委員、筒井委員、中山委員、辻本委員
（欠席者）大澤委員
【事務局】尾焼津参与兼課長、岩瀬課長補佐兼企画係長
鏡味主査、佐野主査

４　傍 聴 者　　　０人

５　議　　題　　　(1)（仮称）道の駅「蒲原」基本計画について

６　会議内容

（１）　開会（事務局）

（２）　（仮称）道の駅「蒲原」基本計画について（事務局（鏡味主査）説明）

（服部委員）
基本計画（案）に記載されている「動線計画」について、トライアルパーク蒲原への既存アクセス路の活用ではなく、新たに南側に位置する国有地に道路を整備しアクセス路とする計画となっているが、国有地の活用に関する調整等はついているのか。
また、国有地内に建物があるが、それらの対応も進んでいるのか。

（事務局（岩瀬課長補佐））
アクセスの検討に際し、安全な出入りの実現に向けた警察との事前協議において、減速車線・加速車線の確保に関する意見をいただいた。これを踏まえ、現在、静岡県が管理する国有地の活用を打診したところ了承が得られた。
また、国有地の活用おける課題については、蒲原支所が中心となって課題解決に向け動いている。

（青木委員）
パブリックコメントについて、現時点で意見は 30 件とのことだが、寄せられたコメントの数や反応について他と比べてどのようか教えていただきたい。

（事務局（尾焼津参与兼課長））
パブリックコメントについては他事例であれば 1 桁ということもあるため、適度な件数であると考えている。また、寄せられた内容についても有意義な意見が多いため、皆様から注目度の高い事業として認識されていると考えている。

（内海委員長）
個人的には 30 件という数は興味を持っていただいているという印象が強くある。またパブリックコメントの内容を拝見したが、非常に熱心なコメントが多く、パブリックコメントを実施した甲斐があったと感じている。

（山内副委員長）
２点伺いたい。
１点目は、アクセスの件についてだが、下り線からのアクセスについて示されているが、上り線からのアクセスはどのように考えられているのか。基本計画として掲載しなくてもよいのか。
２点目は、道の駅は来場者の数が既設や曜日により乱高下することもあり、イベント等の開催を行えば、現在計画している駐車場台数では不足することも想定される。これらの備えとして臨時駐車場が必要と考えるが、静岡県埋蔵文化財センターの活用等は拡張余地として考えているのか教えていただきたい。

（事務局（岩瀬課長補佐））
アクセスについては、基本計画内でも整理されている通り、機能分担として将来、上り線は道の駅「富士」が担い、不足している休憩機能を（仮称）道の駅「蒲原」が担うという位置付けとなっている。このため下り線をメインとして整理しているため基本計画では下り線のみ記載している。ただし、上り線からのアクセスを無視しているのではなく、今後詳細については検討していきたいと考えている。
また、駐車場台数については現在想定している年間来場者数をもとに設定しているが、不足する場合は、敷地東側に位置する市有地を臨時駐車場として活用することも想定される。

（服部委員）
上り線について、イハラニッケイ化学工業株式会社と並走する市道下馬滝州線からのアクセスは想定しているか。そこは幅員も狭く、アンダーパスなので雨の際は通れないが。

（事務局（尾焼津参与兼課長））

市道下馬瀧州線は幅員や高さ制限の関係から、アクセスは想定していない。現在は、蒲原東インターを降りて、バイパス側道を使って南下するアクセスを想定している。

（山内副委員長）

昨今の道の駅は目的地化しており、これに伴い滞在時間が延びる傾向がみられる。このため既存道の駅では駐車場の拡張等の対応に追われているため、（仮称）道の駅「蒲原」でもある程度の備えや拡張性について検討を進めておくのも良いと考える。

（伊賀委員）

基本計画内で示されている今後のスケジュールについて、「何年度」又は「何年目」というように、時期を定めても良いと考えるがいかがか。

（事務局（岩瀬課長補佐））

道の駅の開業に向け、様々な関係機関との協議・調整が必要であり、事業を進めていく中で概ねの開業年度の見通しが立った時点で明確に示していきたいと考えている。

（内海委員長）

基本計画の策定時点では、協議・実施を進める上で必要な項目整理を行うという形でよいと考えている。

（山内副委員長）

具体的な協議が進んでいない中で、関係機関等の相手先の事情もあることから、年度ごとの詳細なスケジュールを示すことが難しいと認識している。

（内海委員長）

パブリックコメントの内容にドッグランに関する記載が多く、現在の利用者からのニーズが高いことが伺える。このことから、既存施設のドッグランについて基本計画内の施設計画に盛込むという認識で良いか。

（事務局（鏡味主査））

施設計画の地域振興機能にドッグランに関する内容を記載する。

（３）　閉会